



とっとりSDGs

企業認証



SDGs取組事例集

第3回認証企業 4社

第4回認証企業 5社

令和7年3月



目次

1. とっとりSDGs企業認証制度について	2
2. 本事例集の読み方	3
3. 第3回認証企業4社の取組事例	5
■ 愛ファクトリー(株)／鳥取市	6
■ アクシスITパートナーズ(株)／鳥取市	7
■ (株)ウメカワ／大山町	8
■ 東亜青果(株)／米子市	9
4. 第4回認証企業5社の取組事例	11
■ (株)ジーライオン ブランナールみささ／三朝町(本社:兵庫県)	12
■ 田中工業(株)／鳥取市	13
■ TOMONARI (株)／伯耆町	14
■ パナソニック アソシエイツ鳥取(株)／鳥取市	15
■ やまこう建設(株)／鳥取市	16

1. とっとりSDGs企業認証制度について

- 2030年に向けてSDGsを達成するためには、行政や市民だけでなく、企業においても率先して社会や環境を持続可能なものとしていくための経営に取り組んでいくことが重要ですが、地域の企業がSDGsを推進するための指針や評価の基準がないことが課題となっていました。
- 鳥取県では、世界中で検討が進められている、SDGs経営に求められる様々な取組・基準の中から、地域の企業にとって特に重要なものを抽出・再構成し、令和4年4月に都道府県では全国初となるSDGsの企業認証制度を創設しました。
- これまでに52事業者を認証したところであり、今後、認証企業のさらなるSDGs経営の推進を支援するとともに、認証企業の取組を多くの方々に知っていただくことにより、企業価値の向上やSDGs経営の浸透を目指しています。

概要	2030年の目指す姿や社会・経済・環境3側面の取組を自己評価し、目標設定。有識者の審査を経て県が認証。
対象者	県内事業者(県内に拠点を有し、主たる事業として営利事業を行う事業者)
認証期間	✓ 3年間(更新可) ✓ 年1回の進捗状況報告によりPDCA

<30の取組項目>各側面6項目以上、全体で21項目以上の取組を評価

社会

- ①労働災害の防止
- ②ハラスメント防止
- ③女性の活躍
- ④障がい者が働きやすい職場づくり
- ⑤多様な人材の活躍
- ⑥多様な働き方の促進
- ⑦労働者への人権配慮
- ⑧社会配慮型商品・サービスの提供
- ⑨地産地消
- ⑩地域社会への貢献

経済

- ①事業継続計画(BCP)の策定
- ②セキュリティ対策
- ③法令順守の取組の徹底
- ④情報公開
- ⑤後継者の確保
- ⑥市場変化を見据えた対応
- ⑦自社以外の経営資源の有効活用
- ⑧デジタル化による生産性向上
- ⑨雇用の維持・拡大
- ⑩人材育成・能力開発

環境

- ①自然環境の変化の経営への影響
- ②社会・制度の変化の経営への影響
- ③事業活動が引き起こす影響
- ④燃料消費量の削減
- ⑤電力消費量の削減
- ⑥再生可能エネルギーの導入
- ⑦廃棄物の削減
- ⑧水資源の適正な管理
- ⑨環境配慮型商品・サービスの提供
- ⑩環境面での社会貢献

第3回認証式(令和6年7月26日)



第4回認証式(令和7年1月8日)



詳しくは、鳥取県ホームページにて公開中！

「とっとりSDGs企業認証制度」の詳細、申請様式等はこちら



2. 本事例集の読み方

本事例集は、令和6年度に認証した9社(第3回認証4社、第4回認証5社)の申請内容から、取組のポイントを抜粋した事例集です。

本認証制度に沿った企業のSDGsの取組や、各企業が大切にしている「想い」や経営理念を感じることが出来ますので、ぜひじっくり読んでみてください！



(事業者名)

■本社所在地: ~~~

■TEL: 0000-00-0000

事業者
ロゴ

<当社 HP QRコード>

(見出し)

「この会社、そもそもどんな仕事をしているの？」

■事業概要

~~~~~

企業がやっている事業全体の概要を記載しています。QRコードを読み取ると、各社のホームページを見ることが出来ます。

「どんなゴールを描いているんだろう？」

■2030年に目指す姿

~~~~~

SDGsの17のゴールや169のターゲットを見据え、**2030年にどんな会社になりたいか、どういうことを進めていこうとしているのか**を記載しています。

■SDGsの取組のPRポイント

~~~~~

「この会社が特に力を入れているのは？」

各企業が最も力を入れている、**うちのSDGs経営はここがポイント！**という内容を書いています。SDGsには、たくさんの取り組むべき内容がありますが、仕事の内容や、目指す姿によって、SDGsの取り組み方は様々！会社の数だけ独自の取組があります。

「社会・経済・環境のバランスをチェック！」

地域に貢献する一方で、環境へ悪影響を与えていたり、従業員が働きにくい会社では、持続可能とは言えません。こうした観点から、本認証では、社会・経済・環境の側面について各10項目、合計30項目の取組を設定し、バランスのとれた取組がなされているかを審査しています。認証申請で特に重点を置いて取り組むとした項目を太字とし、**企業の「今取り組んでいる内容」「今後の目標・取組」**を記載しています。  
  
「+」の項目は、各項目には当てはまらない企業独自のSDGsの取組を申請する「プラスワン」の項目です。

■3側面の重点的取組

社会

~~~~~

認証申請した項目に○印

労働災害の防止 ○
ハラスメントの防止 ○
女性の活躍 ○
障がい者雇用 ○
多様な人材の活躍 ○
多様な働き方の促進 ○
労働者の人権配慮 ○
社会配慮商品・サービス ○
地産地消 ○
地域社会への貢献 ○
+

経済

~~~~~

認証申請した項目に○印

BCP策定 ○  
セキュリティ対策 ○  
法令遵守の取組徹底 ○  
情報公開 ○  
後継者の確保 ○  
市場変化への対応 ○  
経営資源活用 ○  
デジタル化・生産性向上 ○  
雇用の維持・拡大 ○  
人材育成・能力開発 ○  
+

環境

~~~~~

認証申請した項目に○印

自社の気候変動リスク ○
社会変化の気候変動リスク ○
自社による環境への影響 ○
燃料消費量の削減 ○
電力消費量の削減 ○
再生可能エネルギー ○
廃棄物の削減 ○
水資源の適正な管理 ○
環境配慮型商品・サービス ○
環境面での社会貢献 ○
+

「もっと詳しい内容が読みたい！」

鳥取県のホームページで各社の詳細な申請内容を確認することが出来ます。一覧にある各項目の取組内容、数値目標なども見る事が出来るので、各企業のことが詳しく分かります。

3. 第3回認証企業4社の取組事例



あい 愛ファクトリー株式会社

■本社所在地:鳥取県鳥取市青谷町奥崎 388 ■TEL:0857-85-6855



AI FACTORY

<当社 HP QR コード>



地域貢献と Waku-Waku する未来創りを目指します

■事業概要

当社は、株式会社 ID ホールディングスを親会社とする障害者雇用促進法に基づく特例子会社で、鳥取市青谷町で閉校した小学校の校舎を活用した「全天候型植物工場」を運営しています。「安心安全な野菜づくり」をコンセプトに、20 種類以上のハーブ系葉物を栽培し、県内の主要ホテルやブライダル会場、都内の有名レストランなどでご利用いただいています。

障がい者が生産工程に携わる食品等の規格「ノウフク JAS」や、安全・安心な野菜を提供する「JGAP」の認証を取得するとともに、栽培管理に重要な温度・湿度データを自動測定して、データで保管できるシステムを導入するなどの DX 化も推進しています。

■2030 年に目指す姿

障がい者の法定雇用率の維持・向上を目指し、地域社会に貢献する企業であることを目標としています。工場内のバーチャルツアー実現などの DX 化や、施設栽培にも取り組みながら、地域ボランティアやイベント参加による地域活性化に引き続き貢献し、地域や社会性への影響も加味した活動の推進と地域自治体の取組にも積極的な参加を推進していきます。

また、IDグループは、サステナビリティにおけるマテリアリティ(重要課題)として、「気候変動への対応」を掲げ、温室効果ガス排出量の削減目標を定めていますが、当社は経営理念のミッションにある「Waku-Waku する未来創り」に基づく事業活動を通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

■SDGs の取組の PR ポイント

▼人工光 (LED) を利用した栽培室



2023 年 12 月 15 日ノウフク JAS 取得▲



日本基金

▼培養液、水を自動で管理する制御装置



▼とっとりプラごみゼロチャレンジャー登録証



2024 年 4 月 2 日に実施した海岸清掃の様子▲



■3側面の重点的取組

社会

県から障がい者雇用の優良事例に選出されるなど、栽培の自動管理やマニュアル整備により、誰もが働きやすい環境を整えています。定期的なコンプライアンス研修や評価面談のほか、日々の心身の健康状態を確認して、困り事にすぐに対応することができる体制としています。

また、鳥取市のふるさと納税協賛企業として、当社の野菜と旬の鳥取野菜をセットに提供しており、鳥取市の発展に貢献したいと考えています。地元企業とのコラボ商品の開発も進めており、今後も地域の輪を大切に、SDGs 達成に向けて取り組んでいきます。

労働災害の防止	○
ハラスメントの防止	○
女性の活躍	○
障がい者雇用	○
多様な人材の活躍	○
多様な働き方の促進	○
労働者の人権配慮	○
社会配慮商品・サービス	○
地産地消	○
地域社会への貢献	○
+	

経済

年2回の勉強会や、毎月月初の自己点検など、セキュリティ対策を実施しています。

また、グループ会社と連携して、資格取得支援制度による人材育成や、デジタル化・生産性の向上(栽培室の環境管理、AI を用いた文書添削、資料作成、調査対応等)、バーチャルツアーシステムの開発など取組を強化しています。

引き続き、新規事業創出の検討や、就労支援移行機関と連携を図りながら、雇用の維持、拡大を目指しています。

BCP 策定	○
セキュリティ対策	○
法令遵守の取組徹底	○
情報公開	○
後継者の確保	○
市場変化への対応	○
経営資源活用	○
デジタル化・生産性向上	○
雇用の維持・拡大	○
人材育成・能力開発	○
+	

環境

「とっとりプラごみゼロチャレンジャー」に登録して、全社員参加によるマイボトル・マイカップ運動のほか、割りばしやストローの使用禁止、グリーン購入、ビーチクリーン(青谷海岸清掃)活動などを進めています。

また、こども食堂への寄付、規格外野菜の飼料への活用、水耕栽培での自動管理など、無駄が発生しない運営を行っています。

引き続き、環境ボランティアへの積極的な参加、ゴミの減量化、環境保全に努めるとともに、再生可能エネルギーの導入も検討していきます。

自社の気候変動リスク	○
社会変化の気候変動リスク	○
自社による環境への影響	○
燃料消費量の削減	○
電力消費量の削減	○
再生可能エネルギー	○
廃棄物の削減	○
水資源の適正な管理	○
環境配慮型商品・サービス	○
環境面での社会貢献	○
+	



情熱で未来を変える ～人・地域・社会～

■事業概要

DX 推進コンサルティング、ビジネス・プロセス・アウトソーシング、システム・インテグレーション、ネットワーク・インテグレーション、エネルギー管理システムの設計・開発、ネットワーク環境の統合管理の設計・構築、超地域密着型プラットフォームの開発・運用 その他これらに関する一切の事業

■2030 年に目指す姿

私たちは「次世代スマートシティ創造企業」への変革を目指しています。

これまでの経験で培ってきたスキルや知識を基盤に、2つのエコ(ecology×ecosystem)とテクノロジーを掛け合わせた「エコテックシリーズ」を展開していきます。お客様の企業経営基盤となる DX を支える「Digital Shift+(プラス)」とスマートシティ・地域循環型経済を推進する「SX(スマートトランスフォーメーション)」の2本の軸で、スマートシティ創造企業へと成長していきます。

■SDGs の取組の PR ポイント

地域の個々の課題に寄り添った、超地域密着型生活プラットフォーム「Bird」は、IT(デジタル)と配送網(リアル)を融合したサービスです。本社を置く鳥取県を中心に、次世代の生活スタイルの確立と自治体との連携を追求しています。

また、2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、再エネ発電所、電気小売事業者、需要家の3側面で「電力の見える化」を実現する自社システム「ecoln(エコルン)シリーズ」をリリースし、多くの企業の脱炭素化に貢献しながら、スマートシティの実現に向けて取組を加速しています。



■3側面の重点的取組

社会

社員の働きやすい環境を整えるため、男女共同参画推進企業認定や輝く女性パワーアップ企業認定を取得しています。

また、**多様な働き方の推進**を促すためのテレワークや時短勤務を採用するとともに、ハラスメント防止のため、規程の整備や勉強会を実施しています。



認証申請した項目に○印	労働災害の防止	○
	ハラスメントの防止	○
	女性の活躍	○
	障がい者雇用	
	多様な人材の活躍	○
	多様な働き方の促進	○
	労働者の人権配慮	○
	社会配慮商品・サービス	○
	地産地消	○
	地域社会への貢献	○
	+	

経済

「リフレーミングカンパニー」と「Shift the Local」をビジョンとして掲げ、お客様のビジネスの成長を支える課題解決に伴走するパートナーとして、自らに変化を求め、挑戦を続けていきます。

法令遵守のため、リスクコンプライアンス委員会の開催や研修等を行っています。

また、BI ツールによる経営指標の見える化や社内プロジェクト管理と会計のシステムを連携するなど、**デジタル化による生産性向上**を図っています。

認証申請した項目に○印	BCP 策定	○
	セキュリティ対策	○
	法令遵守の取組徹底	○
	情報公開	○
	後継者の確保	○
	市場変化への対応	○
	経営資源活用	○
	デジタル化・生産性向上	○
	雇用の維持・拡大	○
	人材育成・能力開発	○
	+	

環境

再生可能エネルギーの見える化システムの開発や、再エネプラットフォーム、AI を活用した超地域密着型生活プラットフォームサービスを展開して、次世代スマートシティの実現に向けて、持続可能な社会と街づくりに貢献しています。

また、フードロスと、こども食堂の支援を目的に、地域の農家や生産者の協力のもと、**規格外や余剰野菜を地域の方に販売するほか、こども食堂への野菜の寄付**を通じて、「より豊かな食」の提供に貢献しています。

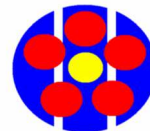
認証申請した項目に○印	自社の気候変動リスク	○
	社会変化の気候変動リスク	○
	自社による環境への影響	
	燃料消費量の削減	○
	電力消費量の削減	○
	再生可能エネルギー	○
	廃棄物の削減	○
	水資源の適正な管理	
	環境配慮型商品・サービス	
	環境面での社会貢献	○
	+	



株式会社ウメカワ

■本社所在地:鳥取県西伯郡大山町下市 844-100

■TEL:0858-58-2290



<当社 HP QRコード>

精密加工技術で社会に貢献

■事業概要

当社は、工作機械や建設機械、輸送機械等に搭載される油圧ユニットやポンプ、バルブ、シリンダなどの「油圧製品」を構成する精密部品を製作している生産用機械器具製造業者です。

■2030年に目指す姿

当社の事業が地域に及ぼす影響を常に考慮し、地域住民との良好な関係を維持することで、「鳥取県にウメカワあり」と言われるような、地域を代表する企業になることを目指しています。

2030年には、ウメカワにしか出来ない固有技術を保有し、安全、健康な環境によって、社員ひとり一人がやる気を持って、個性を生かせる職場を実現していきます。

■SDGsの取組のPRポイント

2023年10月に社長をトップとしたSDGs推進委員会を立ち上げ、毎月1回、活動の進捗状況や問題点、改善点を共有する場を設けています。

優れた改善提案は、社内の掲示板などに掲示しながら水平展開を進めており、好事例を全体朝礼などで全社員に紹介するなど、身近なことから実践を進めています。



■3側面の重点的取組

社会

安全衛生マニュアルの整備や工場内の注意標識の設置等で**労働災害の防止**を進めています。管理職向けの研修を行うなど、**ハラスメントの発生を未然に防ぐ**ことができる企業を目指していきます。

また、**地域の耕作放棄地を借り受けて、白ネギ生産・販売**を行うなど、地域貢献の取組を進めています。地域の方々に信頼される企業を目指し、地域ボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

認証申請した項目に○印	労働災害の防止	○
	ハラスメントの防止	○
	女性の活躍	
	障がい者雇用	
	多様な人材の活躍	○
	多様な働き方の促進	○
	労働者の人権配慮	○
	社会配慮商品・サービス	○
	地産地消	○
	地域社会への貢献	
	+	

経済

自動ラック倉庫の導入などのIoT化を進め、在庫の見える化など、ムダを無くし、業務の清流化を図っています。在庫情報と生産情報を結び付けていくなど、**生産のIoT化を推進**していきます。

また、難切削材料の加工にトライし、**弊社の固有技術**として確立できるよう挑戦を継続します。



認証申請した項目に○印	BCP策定	
	セキュリティ対策	○
	法令遵守の取組徹底	○
	情報公開	○
	後継者の確保	○
	市場変化への対応	○
	経営資源活用	
	デジタル化・生産性向上	○
	雇用の維持・拡大	○
	人材育成・能力開発	○
	+	

環境

消費電力量の低減のため、照明のLED化を行っています。太陽光発電システムの導入を検討し、再生可能エネルギーの活用も進めます。

また、顧客様の協力のもと、梱包材の削減を進めており、**廃棄物の削減**を進めていきます。

認証申請した項目に○印	自社の気候変動リスク	○
	社会変化の気候変動リスク	○
	自社による環境への影響	○
	燃料消費量の削減	○
	電力消費量の削減	○
	再生可能エネルギー	
	廃棄物の削減	○
	水資源の適正な管理	○
	環境配慮型商品・サービス	
	環境面での社会貢献	
	+	



豊かな生活文化を提案し、健康な地域社会の実現を目指す

■事業概要

地方卸売市場を運営し、野菜・果実・花卉等を取り扱っています。2019年からは新鮮な果物を使用した菓子の製造を始めています。

■2030年に目指す姿

- 再生可能エネルギーの利用率を90%以上に引き上げ、カーボンニュートラルを実現します。さらに、サプライチェーン全体でのCO2排出量を2015年比で50%削減し、気候変動対策をリードする企業となります。
- 全ての商品・サービスで、資源の循環利用を徹底し、廃棄物ゼロを達成します。また、製品のライフサイクル全体で環境負荷を最小化するエコデザインを導入し、持続可能な消費と生産のモデルケースを提供します。
- ダイバーシティ&インクルージョンを推進し、性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、全ての従業員が公平な機会を得られる職場環境を整備します。また、女性管理職比率を50%以上に引き上げ、意思決定プロセスにおける多様性を確保します。
- 事業活動を通じて、途上国を含む地域社会の課題解決に貢献します。例えば、現地の雇用創出、技術移転、教育支援等により、地域の自立的な発展を支援し、パートナーシップの下で持続可能な社会づくりに寄与していきます。
- 全ての事業活動において人権尊重を最優先し、サプライチェーン上の人権リスクを特定・防止・軽減する仕組みを確立します。また、事業に関わる全ての人々の労働環境改善と生活の質の向上を目指し、誰一人取り残さない社会の実現に貢献します。

■SDGsの取組のPRポイント

2020年3月、SDGs達成に向けた5つの目標を掲げています。

1. 青果物の安定調達・供給
2. 食の多様化と健康への対応
3. 持続可能な地球環境への貢献
4. 食を通じた地域・社会との共創共栄
5. 従業員の成長と多様性の尊重

○青果物の安定調達・供給

地域の安定した青果物流通を支えることで貢献していきます。

○食の多様化と健康への対応

ハラルやコーシャ、食物アレルギーを考慮した商品サービスの開発を目指しています。

○持続可能な地球環境への貢献

鳥取県「再エネ100宣言 RE Action」の参加や、電力消費量の削減に向けた取組を進めています。

○食を通じた地域・社会との共創共栄

自社施設の有効活用を図り、食品関連業社が集まる卸売市場としての機能を活かして、共創共栄を実現します。

○従業員の成長と多様性の尊重

学習機会の提供など、「強み」を活かしたキャリア形成支援や、健康経営を継続して実践します。



▲地域の安定した青果物流通に貢献します

■3側面の重点的取組

社会

ダイバーシティ&インクルージョンを推進

し、全従業員が公平な機会を得られる職場環境の整備と意思決定プロセスの多様性確保のため女性管理職比率を引き上げます。

また、ネパールのフェアトレードによるコーヒー豆の販売を通じて、農業振興や雇用創出に寄与し、売上の一部をネパールの点字図書館に寄付しています。



▲ネパールの点字図書館への寄付
(関連会社の東亜ソフトウェア取締役が代理訪問)

労働災害の防止	○
ハラスメントの防止	○
女性の活躍	○
障がい者雇用	
多様な人材の活躍	○
多様な働き方の促進	○
労働者の人権配慮	
社会配慮商品・サービス	○
地産地消	○
地域社会への貢献	
+	

経済

DX推進チームを立ち上げ、専門家の助言のもと、DX化に取り組んでいます。今後は、販売管理システムの刷新や会計・人事・給与などのシステム間でのデータ連携に取り組み、業務変革を進め、生産性向上に取り組めます。

▶販売管理システムを構築し、生産性向上に取り組む



BCP策定	○
セキュリティ対策	
法令遵守の取組徹底	○
情報公開	○
後継者の確保	
市場変化への対応	
経営資源活用	○
デジタル化・生産性向上	○
雇用の維持・拡大	○
人材育成・能力開発	○
+	

環境

EMSを導入してエネルギー使用状況を可視化し、削減の取組を進めています。再生可能エネルギーの利用率を90%以上に引き上げ、カーボンニュートラルを実現します。

さらに、サプライチェーン全体のCO2排出量を2015年比で50%削減して、気候変動対策をリードする企業となります。

電気使用状況の可視化とエアコン設定温度管理



自社の気候変動リスク	○
社会変化の気候変動リスク	○
自社による環境への影響	○
燃料消費量の削減	○
電力消費量の削減	○
再生可能エネルギー	
廃棄物の削減	○
水資源の適正な管理	○
環境配慮型商品・サービス	
環境面での社会貢献	
+	

4. 第4回認証企業5社の取組事例



株式会社ジーライオン 健康づくりの宿 ブランナールみささ

■本社所在地:兵庫県中央区新港町11番1号 (鳥取県東伯郡三朝町三朝 388-1)

■TEL:0858-43-2211

三朝温泉 健康づくりの宿



<当社 HP QRコード>



皆様の健康寿命延長に貢献する「健康づくりの宿」を目指す

■事業概要

三朝町で宿泊施設ブランナールみささを経営。三朝温泉の大きな強みである「ラドン温泉」を活かし、岡山大学大学院の山岡聖典教授監修による「ラドン熱気浴」を2017年からオープン。ラドンの効能を40分という短い時間で取り入れる全く新しい「吸う温泉」として多くのお客様に利用していただいています。

■2030年に目指す姿

- ①環境への配慮として、CO2を排出しない電力の活用、食品廃棄物の削減に努めます。
- ②地域社会との連携として、地元の食材を使用した、当館でしか食べることが出来ないメニューを開発します。
- ③社会的責任として、働きやすい環境を整備して、ハラスメント講習の実施や従業員のキャリアアップを支援します。
- ④持続可能な旅行の推進として、エコツーリズムの促進、お客様に対してカーボンオフセットプランなどを提供します。
- ⑤教育と啓発として、従業員やお客様にSDGsに関する情報提供やワークショップの開催を行います。

■SDGsの取組のPRポイント

当社のSDGsポイント

「自然と共に、未来をつくる。」

全館LED化を目指すとともに、新電力のCO2フリー電力の活用により、環境配慮した電力を利用します。



▲LED化した宴会場

プラスチック製アメニティは全てバイオマス製に変更しています。

また、お客様には、アメニティの持参をお願いし、持参されたお客様には200円の売店商品券をお渡しすることで使用量の削減にも取り組んでいます。



▲バイオマス製アメニティ



▲アメニティご持参のお客様には、200円券にて返礼

■3側面の重点的取組

社会

当社が所属するGLIONgroupでは、**ハラスメント防止**の定期勉強会に全社員が参加して、徹底した防止に取り組んでいます。

女性社員が多く、**女性リーダー**も2名在籍しており、今後は管理職をさらに増やしていきます。

外国籍の方を積極的に雇用して、**多様化**に力をいれています。

獣害対策として猪肉ジビエを使ったランチメニューの考案や、宿泊の食事を全て**鳥取県産100%の食材**を使用するなど、地域に貢献しています。

認証申請した項目に○印	労働災害の防止	○
	ハラスメントの防止	○
	女性の活躍	○
	障がい者雇用	
	多様な人材の活躍	○
	多様な働き方の促進	○
	労働者の人権配慮	
	社会配慮商品・サービス	○
	地産地消	○
	地域社会への貢献	○
	+	

経済

グループでは、**コンプライアンス徹底**のための研修会を実施しています。

管理表を作成して毎月の人件費をコントロールするとともに、日報にPDCAを記載して日々業務改善を行うことで、**人材育成の強化**と生産性向上を目指します。

予約・宿泊システム「陣屋」を導入して**デジタル化**を進め、電話予約を60%から40%への削減成功。今後は、自動精算機や自動チェックインシステム、自動清掃ロボットの導入などで、さらなる生産性向上を目指します。

認証申請した項目に○印	BCP策定	○
	セキュリティ対策	○
	法令遵守の取組徹底	○
	情報公開	○
	後継者の確保	
	市場変化への対応	○
	経営資源活用	○
	デジタル化・生産性向上	○
	雇用の維持・拡大	○
	人材育成・能力開発	○
	+	

環境

脱プラ推進として、アメニティは全てバイオマス製に変更しています。

アメニティ使用量自体の削減に向け、持参された方へ200円の売店商品券を返礼としてお渡しする取組を実施しています。

集客予測をAIで行うことで、事前に食材仕入れを考えた発注を行い、**ロスを削減**するとともに、余った野菜は漬物などに利用しています。

4階の一部以外は全館LED化が完了し、電力はCO2フリーメニューにより**CO2排出ゼロの電力を活用**しています。

認証申請した項目に○印	自社の気候変動リスク	○
	社会変化の気候変動リスク	○
	自社による環境への影響	○
	燃料消費量の削減	○
	電力消費量の削減	○
	再生可能エネルギー	○
	廃棄物の削減	○
	水資源の適正な管理	○
	環境配慮型商品・サービス	
	環境面での社会貢献	
	+	



環境と人にやさしい家づくり

■事業概要

鉄骨及び鉄筋コンクリート造、木造在来工法建築などの新築・改修・設計・施工

■2030年に目指す姿

地球温暖化の影響による自然災害(台風、地震)の増加が予測される中、災害に強い住宅が求められています。当社では耐力面材、筋かいによる既存住宅の耐震補強や TK 工法※を用いた揺れに強い住宅を提供することで、安心して将来住み続けられる街づくりを目指します。また、新築・リフォームの際に ZEH 住宅を提案し、快適で健康な暮らしと省エネによる CO2 の削減を進め、地球温暖化の抑制に繋がっていきます。

「社員と家族の幸せのため地域で1番信頼される会社になる」をスローガンに、社会の中で信頼されていくための社会活動、環境活動を行い持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※TK 工法…住宅完成後の木材の乾燥によるガタつきを解消するため、締め直しのきくT・Kボルト等を使用した工法

■SDGs の取組の PR ポイント

「ZEH 住宅(ゼロエネルギー)の普及」

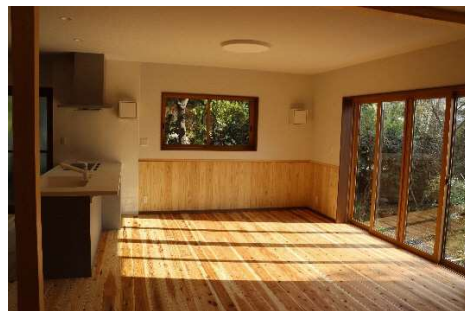
◆高断熱・高气密による快適な暮らし

◆エネルギー消費量の削減

◆太陽光発電による創エネルギー

ZEH 住宅を普及させることで、排出される CO2 の削減や、太陽光発電で生み出されたエネルギーの利用による、環境と人にやさしい家づくりを目指します。

住宅に使用する木材に県産材を利用することで、運搬にかかる CO2 排出量の削減と地元事業者の活性化を図ります。



■3側面の重点的取組

社会

頻発する自然災害(台風、地震など)に対して、住宅の耐震工事や TK 工法を用いた揺れに強い住宅を建築することで、**安心して暮らせる、持続可能な住宅を建築**していきます。

また、女性社長の目線で建設業の慣習を見直し、**女性活躍**を進めます。



認証申請した項目に○印	労働災害の防止	○
	ハラスメントの防止	○
	女性の活躍	○
	障がい者雇用	
	多様な人材の活躍	○
	多様な働き方の促進	○
	労働者の人権配慮	○
	社会配慮商品・サービス	○
	地産地消	○
	地域社会への貢献	○
	+	

経済

高齢化・人手不足などによる工期への影響を考え、積極的な採用活動・インターンシップの実施による**雇用の拡大**を推進します。また、スキルマップを入れた OJT を進め、先輩から若手への技術の継承による**人材の育成・能力開発**、将来の担い手を育てていきます。



認証申請した項目に○印	BCP 策定	
	セキュリティ対策	○
	法令遵守の取組徹底	○
	情報公開	○
	後継者の確保	○
	市場変化への対応	○
	経営資源活用	○
	デジタル化・生産性向上	○
	雇用の維持・拡大	○
	人材育成・能力開発	○
	+	

環境

建設に使用する材料に、リサイクルされた再生砕石や再生アスファルトなどの再生資源を利用することで、**廃棄物の削減**を行います。また、デジタル化を進める事でペーパーレス化による紙資源の使用を削減して、CO2 排出量の削減に取り組んでいます。

鳥取市佐治町余戸地区の「ウスイロヒョウモンモドキ保護活動」に参加し、絶滅したチョウチョの野生復活に向けた、**生物多様性保全の活動**をしています。



認証申請した項目に○印	自社の気候変動リスク	○
	社会変化の気候変動リスク	○
	自社による環境への影響	○
	燃料消費量の削減	
	電力消費量の削減	○
	再生可能エネルギー	
	廃棄物の削減	○
	水資源の適正な管理	
	環境配慮型商品・サービス	
	環境面での社会貢献	○
	+	



と も な り
TOMONARI株式会社

■本社所在地:鳥取県西伯郡伯耆町岩立16-9

■TEL:0859-30-4988



<当社 HP QRコード>



インバウンドを通じた地域観光の持続的発展とまちづくりへの貢献

■事業概要

＜インバウンド事業＞旅行サービス手配事業、インバウンドコンサルタント、海外で人気のある SNS の運営代行業務、訪日プロモーションの企画・運営、中国語などの翻訳・通訳業務。

＜販売事業＞2020 年 5 月からコロナ感染対策商品の販売事業を開始。不織布マスク、非接触自動検温機の輸入販売。自社ブランドの CO2 測定器、アルコールディスペンサー等の販売。

＜アウトドア事業＞2021 年 12 月、アウトドア事業に参入。アウトドア商品の自社ブランド「沢田テント」を立ち上げ、2023 年 4 月伯耆町岩立にグランピング施設「DAISEN RESORT 沢田ベース」をオープン。

■2030 年に目指す姿

当社は、インバウンド観光の誘致を通じて、山陰地方の魅力や豊かな山の幸・海の幸を世界に広め、地域観光の持続可能な発展・整備に貢献します。また、観光事業、アウトドア事業及び貿易販売事業の3つの事業を通じて、地域経済の活性化の一翼を担い、誰もが住み続けられるまちづくりに貢献する会社を目指します。

また、地方の人口が減少していく中で、次代の働き手となるグローバル人材の育成を行い、外国人材が地域に定住できる環境を整備します。

■SDGs の取組の PR ポイント

当社は、勤務する社員の男女比が約半々であり、外国人材が占める割合も 20% 超と、多様な人材が活躍しています。2023 年末から 2030 年までに 12 名の雇用を創出する計画ですが、引き続き性別や国籍にとらわれない多様な人材の活用を推し進めていきたいと考えています。多国籍のスタッフを有する当社を通じて、外国人材が地域に定住できる環境づくりの一翼を担います。

また、自然環境の変化やコロナ禍に代表される情勢の変化による市場需要の動きに柔軟に対応しつつ、地域貢献・地産地消をテーマに、既存事業の拡大や新事業展開して雇用の維持・創出・拡大を目指します。



▲国際交流教育体験プログラム(中国の小中学生が来県)



▲グランピング施設「DAISEN RESORT 沢田ベース」

■3側面の重点的取組

社会		
認証申請した項目に○印	多様な人材の雇用を維持・拡大し、今後は県の男女共同参画に関する認定(輝く女性活躍パワーアップ企業など)の取得も進め、 多様な人材が活躍 するモデルとなる企業を目指します。	
	また、アウトドア事業では、地元食材を使ったバーベキューメニューなど、 地域資源を活用して地産地消 を推進するほか、コロナ禍での感染症対策用品の自治体等への寄贈や、伯耆町岩立区との災害時支援協定締結など、 地域社会にも貢献 しています。	
	労働災害の防止	
	ハラスメントの防止	○
	女性の活躍	○
	障がい者雇用	
	多様な人材の活躍	○
	多様な働き方の促進	○
	労働者の人権配慮	
	社会配慮商品・サービス	○
認証申請した項目に○印	地産地消	○
	地域社会への貢献	○
	+	
経済		
認証申請した項目に○印	新たな野外体験として、熱気球の係留飛行等も行なうなど、 市場変化にも対応 しています。	
	コンプライアンスの遵守 を心掛けながら、DX化とスタッフのスキルアップなどで 業務効率化 を図りつつ、2030 年までに 12 名の新規雇用を行い、年商を 3 億から 7.5 億円へと会社を成長させます。	
	BCP 策定	○
	セキュリティ対策	○
	法令遵守の取組徹底	○
	情報公開	○
	後継者の確保	
	市場変化への対応	○
	経営資源活用	○
	デジタル化・生産性向上	○
認証申請した項目に○印	雇用の維持・拡大	○
	人材育成・能力開発	○
	+	
環境		
認証申請した項目に○印	環境面での社会貢献のため J-クレジットの購入 を行っており、今後も継続します。	
	気候変動による酷暑に対応する商品 として、危険な温度に到達したことを知らせる熱中症指数計の発売など、自然環境・社会制度の変化に対応する商品の開発・販売に邁進します。	
	自社の気候変動リスク	○
	社会変化の気候変動リスク	○
	自社による環境への影響	○
	燃料消費量の削減	
	電力消費量の削減	○
	再生可能エネルギー	○
	廃棄物の削減	
	水資源の適正な管理	
認証申請した項目に○印	環境配慮型商品・サービス	
	環境面での社会貢献	○
	+	



▲2024 年導入の自社運行の熱気球



▲温暖化による酷暑への対応として販売を開始した熱中症指数計



パナソニック アソシエツ鳥取株式会社

■本社所在地:鳥取市晩稲 308 番地

■TEL:0857-28-8477



<当社 HP QR コード>



ノーマライゼーションの理念を実践し地域社会に貢献する

■事業概要

LED 照明の組立製造を主な事業としています。

パナソニック株式会社の特例子会社であり、鳥取県と鳥取市が出資する第三セクター方式の重度障がい者多数雇用事業所として、障がい者雇用に力を入れています。

■2030 年に目指す姿

「働くことを希望する障がいのある人々に安定した雇用の場を創出する」という設立目的を大切にし、障がい者雇用数を25人(2024 年8月末)から 2030 年には30人とすることを目標とします。それにより、障がい者雇用率の向上とともに、地域社会に貢献したいと考えています。

また、パナソニックグループの目標である「CO2 排出実質ゼロ化実現に向けた活動」に参画し、「CO2 ゼロ工場」を目指して光熱費等のさらなる削減と太陽光パネルの設置を計画しています。

■SDGs の取組の PR ポイント

【無災害記録更新】



連続無災害の日数と時間をよく見える場所に掲示し、社員は無災害の継続を常に意識して業務に取り組んでいます。

パトロール員2〜3名による「5Sパトロール」を毎月実施し、指摘された箇所は即時改善するとともに、チェックリストに基づく採点や改善前後の写真も掲示して、社内に周知しています。

パナソニックグループの「2024 年度 健康・安全衛生シンポジウム」にて30年間無災害記録が評価され「安全活動無災害記録特別優秀賞」を受賞しています。

【障がい者雇用】

ハローワーク、支援機関と連携して、就業希望者の見学・職場実習の受入れ等を随時行っています。

トライアル雇用、ジョブコーチ支援の活用などを行い、雇用後も安定して長く働いてもらえるよう支援を継続しています。

◆2023 年度実績

職場実習人数 : 9 名

採用者数 : 4 名

◆表彰等

2006 年

障害者雇用優良事業所鳥取県知事表彰受賞

2010 年

障害者雇用厚生労働大臣表彰受賞

■3側面の重点的取組

社会		
認証申請した項目に○印	創業以来 30 年間無災害記録を更新中です。今後も維持・継続に向けて、5Sパトロールの活動を強化し、危険箇所、不安全行動などを即時にフィードバックしていくことで、会社全体で安全安心な職場環境を維持していきます。	
	現在 25 名の障がい者を雇用しており、1 年に1〜2名の採用を目標に、職場実習の実施、就職面接会への参加など、積極的に採用活動を推進していきます。	
	労働災害の防止	○
	ハラスメントの防止	○
	女性の活躍	○
	障がい者雇用	○
	多様な人材の活躍	○
	多様な働き方の促進	○
	労働者の人権配慮	○
	社会配慮商品・サービス	
認証申請した項目に○印	地産地消	
	地域社会への貢献	○
	+	
経済		
認証申請した項目に○印	情報セキュリティ、コンプライアンスとともに、グループによる徹底したチェック体制を整えて、全社員を対象としたeラーニング研修などの社内研修を行っています。	
	グループトップによる啓発メッセージは、毎日の朝礼等で読み上げて、社内に掲示することで、全社員が遵守を意識しています。	
	BCP 策定	○
	セキュリティ対策	○
	法令遵守の取組徹底	○
	情報公開	○
	後継者の確保	
	市場変化への対応	○
	経営資源活用	
	デジタル化・生産性向上	
認証申請した項目に○印	雇用の維持・拡大	○
	人材育成・能力開発	○
	+	
環境		
認証申請した項目に○印	電力消費量を抑えるため LED 照明を会社内に導入しています。	
	製造途中で発生する半田カスや、段ボール・古紙等をしっかりと分別し、再生可能資源としてリサイクルを行っています。	
	構内のアイドリングストップや、樹木に排気ガスがかからない様に前向き駐車を徹底し、植物、樹木等の保全と環境に配慮しています。	
	また、敷地内緑化率(約 35%)を維持継続していきます。	
	ISO14001 認定取得	
	「鳥取市ごみ減量等推進優良事業所」認定(2010 年)	
	「駐車時等エンジン停止推進事業所」認定(2005 年)	
	自社の気候変動リスク	○
	社会変化の気候変動リスク	○
	自社による環境への影響	
認証申請した項目に○印	燃料消費量の削減	
	電力消費量の削減	○
	再生可能エネルギー	
	廃棄物の削減	○
	水資源の適正な管理	○
	環境配慮型商品・サービス	
	環境面での社会貢献	○
	+	



けんせつ
やまこう建設株式会社

■本社所在地:鳥取県鳥取市南隈 255 番地

■TEL:0857-28-5511



<当社 HP QRコード>



この街の未来のために 地球と人に優しい環境づくり

■事業概要

当社は、鳥取県東部地域を中心に土木・建築工事を行う総合建設業です。
土木工事では、道路・橋梁・港湾工事等や道路維持・除雪等のインフラ整備、建築工事では公共施設・民間施設等の建築・解体工事を行っています。

■2030 年に目指す姿

当社は、現在の基本理念、【社は「誠実勤勉」をモットーに新しい時代に適応する確かな企業を目指す。】を挙げています。

建設業務に携わっている社員は、その活動が地域社会から地球規模に至るまでの環境に深く関わっている事を十分認識し環境に配慮した行動をとらなければなりません。また、社会の一員として環境保全の重要性を認識し、高い技術力で高品質の構造物、社会基盤を構築して、永続的に維持管理していく事等により、「地域から、真に信頼される強い企業」「夢のある会社」となる事が当社のあるべき姿と位置付け、持続可能な経営の実現を目指していきます。

- ① 「安全」に仕事ができるよう、心とからだの健康づくりに配慮しつつ、安心して働ける会社を築き上げていきます。
- ② 「安全」に生活ができるよう、この鳥取の地に暮らしに必要なインフラの整備・防災対応に貢献していきます。
- ③ 「安全」に将来への継承ができるよう、鳥取の地の利を生かした環境保全活動に貢献していきます。

これらを目標にこれからの SDGs への取組として継続していきます。

■SDGs の取組の PR ポイント

当社は、綿密な数量計算と緻密な工程管理により、現場で使用するコンクリート、碎石等の資材の使用量を必要最低限としています。また、丁張材などの再使用可能な資材は、可能な限り複数回使用しています。現場で発生したコンクリート殻、アスファルト殻、建設発生木材は、再生資源化施設に持ち込み、再生碎石、再生アスファルトの骨材、ウッドチップといった資材へと再資源化しています。紙くず、プラスチック、金属類等の分別も行い、最終処分となる廃棄物の削減に努めています。

これにより、「3R(Reduce/Reuse/Recycle)」の取組を徹底、推進し、事業の継続に伴う環境負荷の低減に努めています。

化石燃料由来のエネルギー使用の見直しが求められる建設業界では、ハイブリッド重機の使用と太陽光発電システムの活用、エネルギー収支をゼロにする ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の建設推進と技術への対応を重要な点と考えており、施主の要望に沿って ZEB を取り入れた建物の建設に携わっています。

また、持続可能な社会の実現に不可欠なこれからの担い手の育成のため、地元の行政、学校と連携して指定学科以外の生徒も含めたワークショップ形式の出前授業、業界の魅力発信といった取組を行っています。



(ZEBを導入した建築物)

■3側面の重点的取組

社会		
認証申請した項目に○印	労働災害の防止	○
	ハラスメントの防止	○
	女性の活躍	○
	障がい者雇用	
	多様な人材の活躍	○
	多様な働き方の促進	○
	労働者の人権配慮	○
	社会配慮商品・サービス	
	地産地消	
	地域社会への貢献	○
+		
経済		
認証申請した項目に○印	BCP 策定	○
	セキュリティ対策	○
	法令遵守の取組徹底	○
	情報公開	○
	後継者の確保	○
	市場変化への対応	
	経営資源活用	
	デジタル化・生産性向上	○
	雇用の維持・拡大	○
	人材育成・能力開発	○
+		
環境		
認証申請した項目に○印	自社の気候変動リスク	○
	社会変化の気候変動リスク	○
	自社による環境への影響	○
	燃料消費量の削減	○
	電力消費量の削減	○
	再生可能エネルギー	
	廃棄物の削減	○
	水資源の適正な管理	
	環境配慮型商品・サービス	
	環境面での社会貢献	○
+		

発行元・問い合わせ先

〒680-8570
鳥取県鳥取市東町1丁目220番地
鳥取県 商工労働部 商工政策課

TEL : 0857-26-7602

FAX : 0857-26-8117

Mail : shoukou-seisaku@pref.tottori.lg.jp